

柴田安彦（無党派）

診療報酬改定による
今後の市民病院のあり方は



患者さんに対して、最善の医療を行う市民病院

問 4月の診療報酬改定により、一般病棟の施設基準7対1が維持できないことが予想される。今後の市民病院の運営方針を伺う。

答 病棟の組み合わせの変更をしないままで重症患者割合をクリアすることは難しい。患者さんにとって最善の医療を提供できる体制、病院の経営維持を前提に再編を検討した。その結果、地域包括ケア病棟を1棟増やして2棟とし、10月1日からの稼働に向けて

準備を進めている。前年度実績に比べ約3千万円の減収となるが、地域包括ケア病棟の適切な運営で損失額は少なくできると考える。

問 機動的な市民病院とするために、市長が経営責任を負っている地方公営企業法の一部適用から、病院長が管理者となる全部適用に変更してはどうか。

答 全部適用も選択肢のひとつとして検討するが、病院の機動力を発揮するため、適正な保険請求を行う専門知識のある職員を採用し、次期診療報酬改定等に的確に対応できる専門的職員の育成に努めたい。

大場康議（自民党市議団）

国民健康保険制度の見直しについて

問 国民健康保険税のうち、資産割を廃止している市町村が県内で増えていると聞かすが、市はどう考えているのか。

答 資産割の取り扱いは、市の重要な検討課題であると考えている。



問 国保税を滞納している短期証世帯の子どもに、通常の被保険者証を発行することはできないか。

答 9月の被保険者証更新時から、短期証世帯の子どもに、通常の被保険者証を発行したいと考えている。

鹿島バイパスの安全対策について

問 国道247号鹿島バイパスの交通安全対策の今後の見通しと課題を伺う。

答 交通安全対策として、信号機の設置の問題があるが、それ以前にバイパスに接続する道路を路線認定することが条件となる。現在、道路計画について、大型店舗から出された複数

案の一本化に向けて調整しており、今年度中の解決に向けて鋭意努力している。

鈴木貴晶（自由クラブ）

青パトに
ドライブレコーダー設置を

問 市内の青色回転灯パトロール車に動く防犯カメラとしてドライブレコーダーを設置することの効果と設置を促進する補助制度の導入について伺う。

答 設置の効果は、交通事故の原因の特定や過失の有無などの証拠としての活用や映像記録の活用で事故処理の効率化を図ることができる。補助制度の導入は、各地域で防犯活動を行っている団体に意見をもらいながら検討したい。

三河大島の渡船に
サウザンド・サニー号を

問 潮干狩り、海水浴の時期以外に三河大島までの渡船にワンピースのサウザンド・サニー号を活用しはどうか。

答 現在、サウザンド・サニー号は、ラグーナ沖への遊覧船として活用されている。市から三河大島までの渡船として利用の投げかけはできるが、コンテンツとしての魅力や採算性はラグーナテンボスが判断することになる。



三河湾に浮かぶ三河大島

伊藤勝美（公明党市議団）

罹災証明書の発行体制は

問 罹災証明書の速やかな発行体制について、市